

医療と法律

責任者・コーディネーター	人間科学科（法学分野） 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科(分野)	人間科学科（法学分野）		
担当教員	廣瀬 清英 講師		
対象学年	第1学年	期間	後期
区分	講義	時間数	21時間

■ 学習方針（講義概要等）

医事法学は、新しい学問の分野であり、その体系や対象範囲について、これまでのところ通説的な見解があるわけではない。この学問は当初、医師法・医療法・その他の衛生法規など医療制度を定めた法律を体系的に論述する「医事法制」から出発し、専ら医療を提供する医師の側の視点から、その業務と責任のあり方を中心に論じられてきた。

しかし、現在の医事法学は、医療を受ける側に基本的視座をおきながら、人の「生老病死」に対し法がどのように関わりあっているかを考えることが中心になり、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題に対応して「医療過誤」、さらに「生命倫理」などをも視野に入れた「医療行為の法」としての研究が進められている学問である。

■ 一般目標（GIO）

本講義では、法学の知識を前提に専門的かつ進歩が著しいことから法体系が複雑化している医療分野について、医事法学の立場から人の「生老病死」に対し法がどのように関わりあっているかを、専ら医療を提供する側の視点からのみならず、医療を受ける側にも基本的視座を置きながら考察する。

また、医療事故をめぐる紛争や先端医療が提起する諸問題にも対応して「医療過誤」や「生命倫理と法律」などについて概説し、それらを理解することを目指す。

■ 到達目標（SBO）

1. 医事法が目的としていることを学び、具体的事案から「医事法の精神」を養う。
2. 患者の権利、インフォームド・コンセントなど生活の場における医療と法律の関係を理解する。
3. 生殖医療、人工妊娠中絶、遺伝子技術など生命誕生の周辺における医療と法律の関係を理解する。
4. 安楽死、尊厳死、臓器移植など生命終息の周辺における医療と法律の関係を理解する。
5. 医療過誤訴訟の裁判例から医療と法律の関係を理解する。

■ 講義日程 (クラス 1・3 学部合同)

【(矢) 東 2-C 講義室】

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C1	9/13	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(1) 医療行為と患者の自己決定権
C1	9/20	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(2) 診療情報と法律
C1	9/27	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(3) 人体実験と新薬開発
C1	10/18	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(4) 小児医療と精神科医療
C1	10/25	木	2	法学分野	廣瀬講師	生命の誕生と法律(1) 人工妊娠中絶
C1	11/1	木	2	法学分野	廣瀬講師	生命の誕生と法律(2) 生殖補助医療
C1	11/8	木	2	法学分野	廣瀬講師	生命の誕生と法律(3) 遺伝子技術の応用
C1	11/15	木	2	法学分野	廣瀬講師	生命の終焉と法律(1) 治療拒否と自殺
C1	11/22	木	2	法学分野	廣瀬講師	生命の終焉と法律(2) 脳死と臓器移植
C1	11/29	木	2	法学分野	廣瀬講師	生命の終焉と法律(3) 安楽死と尊厳死
C1	12/6	木	2	法学分野	廣瀬講師	薬害事件と法的責任
C1	12/13	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療過誤訴訟(1)
C1	12/20	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療過誤訴訟(2)
C1	1/10	木	2	法学分野	廣瀬講師	医療過誤訴訟(3)

■ 講義日程 (クラス 2・3 学部合同)

【(矢) 東 2-C 講義室】

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
C2	9/7	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(1) 医療行為と患者の自己決定権
C2	9/14	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(2) 診療情報と法律
C2	9/21	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(3) 人体実験と新薬開発
C2	9/28	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療における患者の権利(4) 小児医療と精神科医療
C2	10/19	金	1	法学分野	廣瀬講師	生命の誕生と法律(1) 人工妊娠中絶
C2	10/26	金	1	法学分野	廣瀬講師	生命の誕生と法律(2) 生殖補助医療
C2	11/2	金	1	法学分野	廣瀬講師	生命の誕生と法律(3) 遺伝子技術の応用
C2	11/9	金	1	法学分野	廣瀬講師	生命の終焉と法律(1) 治療拒否と自殺
C2	11/16	金	1	法学分野	廣瀬講師	生命の終焉と法律(2) 脳死と臓器移植
C2	11/30	金	1	法学分野	廣瀬講師	生命の終焉と法律(3) 安楽死と尊厳死
C2	12/7	金	1	法学分野	廣瀬講師	薬害事件と法的責任
C2	12/14	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療過誤訴訟(1)
C2	12/21	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療過誤訴訟(2)
C2	1/11	金	1	法学分野	廣瀬講師	医療過誤訴訟(3)

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	ブリッジブック医事法	甲斐 克則	信山社	2008
参	医事法入門（第3版）	手嶋 豊	有斐閣アルマ	2011

■ 成績評価方法

1. 評価は原則として本試験を8割、課題等を2割とする。
2. 但し、出席状況に応じて成績を加減補正する。

■ 特記事項・その他

1. 講義は医学部、歯学部、薬学部の合同クラスで行う。
2. 学生を2グループに分け、クラス1(C1)は木曜日の2時限目に、クラス2(C2)は金曜日の1時限目に講義を行う。

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	書画カメラ・DVDプレーヤーセット (エルモ、東芝、他)	1	講義資料の提示
講義	ノート型PC	2	資料作成、講義プレゼン用